

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い し せ き

指定文化財(史跡)

おかだはいじ(こんごうじあと)

## 岡田廃寺(金剛寺跡)

新高総早  
見梁社島  
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠  
掛原口庄岡  
町市市町市



場所

くらしきしまひちようおかだ  
・倉敷市真備町岡田



時代

あすかじだい  
・飛鳥時代



指定年月日

へいせい  
・平成17(2005)年  
12月5日



所有

ひがしそのじんじゃほか  
・東菌神社外



し せ き

### この史跡について

まひちようおかだあざやまたにこんごうじはくほうきほじこだいじいんあと  
真備町岡田字山ノ谷金剛寺にある白鳳期に始まる古代寺院跡です。南に向かって降る低い舌  
じようだいちじようこうじんじゃしようしきよほく  
状台地上で、荒神社の小祀があり、ムクの木の大木の近くに立地しています。

本来の位置を保つとみられる礎石4個が並び、いずれにも繰り出しの円柱座が認められます。  
付近はやや南北に細長い方形の高まりになっていて、寺院建物の基壇の痕跡を残しているかに  
見えますが、伽藍配置全体のことなどはあきらかになっていません。

こだいじいんてらあとしゆつどのきさきがわらもんようすいていのきまるがわらもんようれんげもん  
古代寺院の年代は、寺跡出土の軒先瓦の文様から推定できますが、軒丸瓦の文様は、蓮華文の  
がいえんきよしもんたいしゆもんたい  
外縁に鋸歯文帯と珠文帯をめぐらしたものが、2～3種あり、その文様は、この地方に独特なも  
ののだとして、「吉備式」あるいは「備中式」の名でよばれています。

れんげもんかべんはくほうじだいのすえならじだいのへいじようきようせんとこ  
蓮華文の花弁の数が8弁のものは白鳳時代の末、16弁のものは奈良時代の平城宮遷都後のこ  
ろといわれています。軒平瓦の文様には、小断片ながら重孤文瓦があり、年代は白鳳時代だと考  
えられ、均整唐草文瓦は、国分寺創建の8世紀中ごろからの年代が推定できます。